

# やじうま議会のオツチング

平成28年9月議会「町長身振り手振りで力説するも町の展望は不明」



平成28年9月議会は、陳情2件、町長提出議案13件が審議。本会議は、3人の決算総括質疑、4人の一般質問。平成27年度決算審査特別委員会も開催されました

## 町長に回答を求め、鋭く迫る議員質問だが、町の展望は不明

9月議会は平成27年度決算審査特別委員会も開催され、村田町長就任後1年9箇月以上が過ぎたこともあつてか、町長に回答を求め、鋭く迫る議員質問が多かったです。

また、現在二宮町の大きな課題となつている公共施設再配置・町有地有効活用等に関する質問も多く、特に一般質問は傍聴しがいのある質問の切り込み方で久々に楽しめました。

しかし、費用対効果までは踏み込まず、村田町長から、きちんとした回答も得られず、町の展望もわからず仕舞いで残念。

村田町長が「誰もが主人公になる町」、町民参画、協働のまちづくりを進めるつもりであれば、情報の共有化の観点からも、1年9箇月以上かけて町民から集約した意見を町の展望として明らかにし、さらに町民の意見や要望を取りまとめ、来年度の予算編成に反映していく足がかりが感じられる議論をしてほしいと思います。

## 保身に見えた町長の身振り手振りの力説

9月議会で手を振り叩き、声を荒げて回答する村田町長の姿に数名の方から「町長としての回答ではない。内容のなさを隠す単なる保身に見えた。行政の意識変革を求めてほしい」という連絡を受けました。

村田町長は、公共施設に指定管理者制度の導入についての回答の中で公共施設が老朽化してしまつて、指定管理者のなり手もないようなことをもたらす場面

も見受けられました。きっと村田町長には、思った以上に全てにおいて町の対応が遅れ、財政は逼迫し、自分の責任ではないことの責任が振りかぶってきているのでしよう。

しかし、その責任追及をしなかつたのですから、町長に就任したからには、全身全霊で財政の健全化、二宮町の生き残り策をとるために行動してほしいと思います。

## 決算審査ができる書類、資料の提出の改善が必要では？

決算審査に議会提出が法令で義務付けられている書類のうち主要施策の成果説明書の内容や、法令で義務付けられている以外にも必要書類や資料は十分議会に提出されているのでしょうか。

資料不足でも決算審査ができるほど議員は町財政に精通しているのでしょうか。改善が必要だと思ひます。

## こんな公職者にレッドカードを

公職者のどんな寄付行為もダメや辞任が報道されることがありますが、自分とは関係ないと思つていませんか？しかし、私たちは違反行為を見過していることも意外にあります。

公職選挙法違反は、選挙期間以外にも適用され、公職者は選挙区内の者に一切の寄付行為が禁止されています。これからは忘年会や新年会などお酒を飲む会が増えますが、後援会以外の日本酒やビール等の提供は違反行為です。会費を支払つたとしても実費以上に安い場合も違反行為です。心当たりのある方はいませんか。公職選挙法は民主的な政治が行われるための選挙の公正さの保持に必要な法律です。私たちは普段から気をつけ、違反行為を止めさせましょう。

## 9月議会を楽しもう！

議会開催予定 12月1日～9日

しお風ブログ <http://shiokaze.blog.jp/> で「議会ウォッチング」を発信し、「しお風いどコミ」で町財政、議会、予算編成公表のあり方についての意見交換もしたいと考えています。

ホームページ <http://shiokazecommunity.jimdo.com/> の「二宮を知りたい」の「二宮の課題」で今年度のやじうま議会ウォッチングがご覧いただけます。

お問合せ まちづくり工房「しお風」神保

☎090-3142-9358

メールアドレス [shiokaze@mj.scn-net.ne.jp](mailto:shiokaze@mj.scn-net.ne.jp)

	議員名(敬称省略)	質問	傍聴コメント
決算 総括 質疑 9月 12日	二宮 節子 (1期)	1 安定的で継続性がある自主財源確保の考え 2 指定管理者制度の進捗状況 3 防災対策 通信配備に2年かけることの「災害に強い町」との整合性と自助・共助の知識の行き渡り	先進事例をおりまぜて、町長に迫りましたが、自主財源確保の具体策は分からず仕舞。指定管理者制度も公共施設の老朽化が足枷で、リノベーションした中で検討とのこと。具体的な施設名を挙げて追及することはできなかったのでしょうか。 防災対策では避難所と在宅非難の2つの観点で町長は今後取り組む考えのようだが、方針変更して、どのように防災訓練や対応を変えていくのか、通信無配備防災拠点他地区と連携ができるのか具体的な方法まで追求してほしいと思いました。
	根岸 ゆき子 (4期) 副議長、議会基本条例推進委員会委員長	1 町長としてのこだわり 2 町民参画 移動町長室の成果・改善点、町民発のアイデア・事業を活かす手法の確立、職員提案制度 3 予算編成の透明化 予算編成過程を公表しながら町民と作る予算の実現可能性 4 強い組織づくり まちづくり条例は作られるのか、凍結された図書館人件費削減計画は廃止か修正か 5 東大跡地と小児病院跡地利用の町の考え	根岸議員、今年度はどうしたの？と言いたくなりました。鋭い観点からの質問になるはずが、「その」「あれ」「こういふ」という言葉が多く、添田議長から「質問がわかりにくいので、整理して発言するように」と注意されていました。 終わった後に傍聴者からも「何が言いたいのかまったくわからなかった」という声もありました。 ベテラン議員で議会での役職も議会をけん引していく役割を担っているし、質問の目の付けどころはいつも鋭いので、期待しています。話法を見直し、鋭い質問で町の曖昧な回答を正してください。
	小笠原 陶子 (5期) 教育福祉常任委員会委員長	1 地域包括ケアシステム構築に向けての進捗状況 町民への周知の在り方、二宮町地域福祉計画の住民参加、ミニデイサービスに使われている集会施設のバリアフリー化の優先順位を決めた実施 2 町北部の定住促進 県営住宅とサンコーポラス(旧雇用促進住宅)の環境改善 3 公共施設再配置・町有地有効活用等について 3回開催の検討委員会で答えが出るのか	具体例をあげて、二宮町地域福祉計画の住民参加がボトムアップ方式で計画を進めていく方針から程遠いこと、県営住宅とサンコーポラス(旧雇用促進住宅)の問題、公共施設再配置・町有地有効活用検討委員会もきちんと機能していないことを明らかにしました。 町の対応の遅さ、危機管理意識の低さについて、地声が大きいのですから、滑舌を良くしてもっと鋭く批判してほしいと思いました。
一般 質問 9月 14日	前田憲一郎 (1期)	安心安全な教育環境の構築について 1 小中学校の各教室のエアコン設置についての見解 2 町立図書館の月曜開館とこどものほんコーナーに案内者と相談者を置くことについての見解	小中学校、図書館の具体的な教育環境をとりあげての質問でしたが、町、教育委員会の予算の厳しさの理由に腰砕けで終わったように感じました。優先順位の考え方や費用対効果、財政が厳しいといいながら、決算に不用額として残した費用がかなりあるなど回答の矛盾点を追及してほしいと思いました。
	露木 佳代 (1期) 議会だより編集委員会副委員長	「にのみやLife」全国展開シティブロモーション事業について 1 この事業とは何か 2 業務委託業者の役割と「にのみや魅力発信隊」とはどういうもので役割は 3 来年度以降の事業費の予定、見直し 4 プロモーション事業の効果測定 5 プロモーション事業展開と新しい施策につなげる考え、現状事業や改善点の洗い出し 6 職員提案制度など職員の士気継続方法	プロモーション事業の予算のほとんどが委託業者に支払われ、情報を実際に発信していく「にのみや魅力発信隊」を町民ボランティアに無償で実施していく計画の問題点を追及しました。高額を支払う委託業者と「にのみや魅力発信隊」の構成員の無償町民への予算配分の不適正さ、無償での継続性への危惧を表明しましたが、町の考えを正すには至りませんでした。 昨年度この事業が補正予算で計上された時に厳しく追及し、熟慮して予算検討をしてほしかったと思います。 職員は町の展望、目指すものが曖昧の中では情報発信が難しいことを念頭においていただき、町長、幹部職員の責任をもっと強く追及してください。
	野地 洋正 (1期) 教育福祉常任委員会副委員長	公共施設再配置・町有地有効活用検討事業の進捗及び今後の予定 1 事業の進捗、今後の予定 2 検討委員会の役割、責務 3 公共施設再配置による町のあり方、将来像	公共施設再配置・町有地有効活用については町民の生活に大きく影響がでます。そして、ここ数年、町は調査に費用や年月をかけてきたのに、この段階でまだ何もかもが不明なことは大問題です。その責任追及過去の町の答弁との矛盾も明らかになら、様々な観点から検討を進めるよう、町に示唆や働きかけをしてほしいと思います。 委託会社に高額の費用を払っても、責任は持ってもらえないことを指摘するだけでなく、検討委員会の開催回数を来年度増やせばよいという問題ではないことも指摘してほしいと思いました。
	渡辺 訓任 (1期) 議会運営委員会副委員長	大磯恒道会の施設運営と町介護施設の整備促進について 1 もとまちの家の1ユニット閉鎖とこゆるぎの里との統合について当初の連絡から撤回に至る経緯 2 もとまちの家、かわわの家のサービスと恒道会の施設運営への町の評価 3 地域密着型介護老人施設・保健施設サービスの来年度および将来見直し 4 公共施設再配置・町有地有効活用の中で老人福祉施設・老人保健施設などの介護施設の設置・誘致についての検討	大磯恒道会の施設運営の問題を明らかにし、指導的立場にある町の考えを具体的に問いながら、公共施設再配置・町有地有効活用の町の見解を問うという大きな視野に立って、いつもの優しい口調で、町を厳しく追及する質問は見事でした。 傍聴者も感動しているようでした。 しかし、どちらも町の対応の遅さ、危機管理意識の低さに喝をいれるところまで行きませんでした。さらに一問一答方式の技を磨いてください。 期待しています。
	質問しなかった議員(敬称省略・議長を除く)	杉崎俊雄、柳川駅司、二見泰弘、桑原英俊、善波 宣雄	